

。床版の軽量化 替などの更新用部材とし
取替後の耐震性 飛来塩分や凍結防止
設の疲労に対 剤散布による鋼材の腐食
性向上が期待 環境が厳しい本線構造物
う。
は超耐久橋梁と う。



輪荷重走行試験

の主な活動計画 だった。
夏頃に供試体試 また技術講演会を10月
すること、技術 10日に東京のアルカディ
定、公的機関の ア市ヶ谷で開催、岐阜大
取得を目標にE 学の内田裕市教授の特別
関連技術全てに 公演を予定している。
設計法の検討な

に尽力

工事の工事報告、JIC

第20回総会
協会の発展に力
たい」と挨拶し
年度事業計画で
け工法資格者講
ルマン技能試験
橋脚耐震補強の
塗装剤の検討な
ずる。土木学会
リート構造物補
銛」検討委員会
ぎ参加するとし
同協会設立20周
として熊本地震被
義援金15万円を
送ることを決議
会後、奈良建設
也氏による金町
4急速通過池圧
および耐震補強

Aバングラディッシュの橋
山義光プロジェクトリ
ダーによる基調講演「バ
について」が発表された。

ドローン事業で2社提携

国際航業とオリックス・レンテック

国際航業とオリックス 3D」を提供してい
・レンテックはこのほ。一方、オリックス・
ど、ドローンに関する相 レンテックは、計測器の
互販促進協力契約を締結し レンタルサービスで培っ
た。
国際航業は、高度な航 空測量で培った技術力を
投入し、ドローンの安全 運用と3次元データ計測
方法を教習する「ドロー
ン(UAV) 運航・3次
元計測スクール」の運
営、およびドローンなど
で撮影した写真から簡単
に3次元データを作成す
る「3次元空間解析クラ
ウドサービス(KKC-
00円×12カ月)を、無

今回の提携では、オリ
ックス・レンテックから
ドローンを購入・レンタ
ルした顧客に対して、国
際航業の「3次元空間解
析クラウドサービス」基
本料金最長1年分(1ラ
イセンスあたり月額50
00円×12カ月)を、無

第3回通常総会を開催

ブラスト施工技術研究会
非会員参加し交流深める



研究会は平成26年12月、十数人で発足してから2年余が経過。第3回通常総会はブラスト工事にかかわる数多くの関係者を包含して行われた。わずかな月日で塗装業界が注目する会に成長し、今後の動向に関心が集まる

ブラスト施工技術研究
会は6月16日、東京都中
央区で第3回通常総会を
開催。28年度活動報告お
よび収支報告、29年度事
業計画および予算案など
をそれぞれ了承した。総
会前にはclassNK
コンサルティングサビ
スによるFROSSIOの
説明、各ワーキンググル
ープによる討議などが行
われた。総会にはオプザ
ーバーや他協会員などが
参加し、交流を深めた。
小寺健史会長は「素地調
整の本来あるべき姿を模
索したい」と話した。

つなぐ

女子一生の仕事

現在、国交省が力強
く推進するアイコンス
トラクションについ
て、最近、広域建機レ
ンタル業者幹部の方々
から「情報化施工の仕
事は女性に向いた」と
の話をよく聞く。熟練
の技術や力仕事を
必要がない上、より細
やかな視点を生かせる
ところがその理由だと
いう▼建設労働従事者
の減少は喫緊の課題だ
から、女性の労働力に
料で提供する。
同契約により、両社で
は今後、ドローン調達か
ら3次元データの作成・
活用方法などのソリユ
ーション提案まで、包括的
なサポート展開をしてい
くことを目指している。

4Dセンサー 計測技術提案 フォーラムで意見交換



画像センシング展の様子

4Dセンサー(森本吉
春社長)は6月9日に国
土交通省中央合同庁舎3
号館で行われた「革新的
技術フォーラム」公共建
築物のメンテナンス効率
化技術」に参加した。
同フォーラムではイン
フラ構造物の点検技術な
どを自治体関係者に紹
介。同社もモアレサンブ
リングによるドローンを
用いた「インフラ構造物
の形状・変形・き裂・振
動の高速計測」の技術を
発表した。フォーラムを
終え国交省は今後、自治
体の課題解決に向け、幅